



令和8年(2026年) 石垣市新川児童館だより



〒907-0024
石垣市新川 2212-9
TEL 0980-87-7747
FAX 0980-87-7748

【開館時間 10:00~12:00 / 13:00~18:00】※17:45~お片付け・そうじです。

- 新川児童館は、0~18歳未満のすべての子どもが利用することができます。
- お子さんを預かる施設ではないため、利用時の来館・退館時間(帰る時間等)はご家庭で約束をした上でご利用ください。 ※未就学児は保護者の同伴が必要です。
- 来館の際は水筒を持参してください。お金を渡すのではなく、水筒を持たせましょう。
- 駐車場が満車の際は、他に停める場所はありません。徒歩か公共交通機関をご利用ください。



生年祝賀会でダンスを披露しました!



米軍嘉手納基地内の高校生との交流会! おもちゃのプレゼントもありがとうございます!



カタカナナシ



カップタワー



2月のおもいで



シャトルラン



雨の日のUNO



中高生: 児童館まつりの準備



実習生の先生ありがとう♡



実習生による遊び♪



中高生: 初の女子会

大切なおしらせ

☆新川児童館駐車場が満車の場合は、他に停める場所はない為、石垣市子どもセンターをご利用ください。

※絶対に空き地や団地内、路上駐車はお止めください。

☆緊急時以外は電話をお控えください。「児童館に来てますか?」の電話が多く困っています。必ず約束事をしてから一日の始まりをスタートしましょう。※午後は電話が取れないこともあります。なるべく午前をお願いします。

緊急時→「家族が救急車で運ばれた」「こどもが18時過ぎても帰ってこない」等(生死に関わること)

緊急時以外→「習い事に行かせてください」「帰って来てと伝えて」(前日かその日の朝に約束できること)

長期休みのお知らせ

- ★新1年生のオリエンテーションを、3/31(火)の15:00から行います。利用登録の申請や約束事、新川児童館のルール確認を行います。
- ★新1年生が保護者の同伴なくひとりで利用できるのは、4月1日からです。
- ★児童館はお子さんを預かる施設ではないため、利用時の来館・退館時間(帰る時間等)はご家庭で約束をした上でご利用ください。**こどもの意思を無視し、児童館に置いていく行為もお止めください。**必ず、「**児童館に行きたいのか?**」**こども達の意味確認**をして、約束事をしてから来館してください。
- ★長期休みの平日は、「午前中から小学生以上が優先」となります。乳幼児さんは、「乳幼児のお部屋」のみになりますので、ご了承ください。
- ★4月から新しく利用登録(年度更新)が必要です。利用登録は、ケガや事故・事件などが起きたときに、迅速に保護者と連絡を取る為に必要になります。必ず登録をお願いします。
- ★早寝早起きを心がけましょう。夜遅くまでゲームやスマホを2~3時間もやっていると、必ず生活習慣が乱れてきます。また、**遊ぶ気力も失い、元気が出なくなります。ケガも増えます。年度明けから学校に行けなくなることもあります。**しっかり約束事をして楽しい長期休みをお過ごしください。

館長のひとこと

児童館ってどんなところ?

突然ですが、石垣島には児童館が何か所あるかご存じでしょうか?

石垣島には「子どもセンター」「とのすく児童館」「新川児童館」の3館がありますが、石垣島ではよく、「学童クラブと一緒に?」「利用料は?」と混同されてしまいます。今回は、児童館と学童クラブの違いや、児童館とはどんなところか?をお伝えしたいと思います。

まず学童クラブは、主に「保護者が昼間家庭にいない小学生を対象に、授業終了後の生活の場を提供する施設」です。分かりやすく言えば、「**保護者が安心して働けるよう、放課後の時間を預かり、おやつや宿題の見守りをする場所**」ということです。**身の回りに身内がない家庭や、共働きの家庭には、近年欠かせない存在になってきていますよね。**

一方、児童館は0歳から18歳未満までの子どもが無料で自由に利用できる児童福祉施設です。簡単に言えば、「**自分の意思で来て、遊び、好きなタイミングで帰ることができる地域の居場所**」です。専門職である児童厚生員が配置され、遊びを通して子どもの育ちを支えます。特に小学生以上は、「**自分の意思・自分の足**」で来館することができる**唯一の施設**という点が大きな特徴です。では、具体的に児童館はどういった場所なのでしょう?



一言で表すのは難しいのですが、**我々大人が子どもの頃、地域に自然とあった公民館の集まりや子ども会のような場所**を思い浮かべていただければと思います。**こどもの意思を尊重し、自由に来館できることを重視した場所**です。そこで、**自分の意思で動くことの大切さ**を伝える為に例を一つ上げたいと思います。その一つが「**登下校**」です。近年は、車での送迎も増え「**まだ一人でアスファルトの上を歩かせたことがない**」そんな声を聞くのが当たり前の時代になりました。

子どもの頃の登下校というのは「冒険」だったことを、大人は忘れてしまっています。キラキラ光った宝石(ガーデニングの石)を見つけたり、秘密の部屋の鍵(ポーク缶の巻き取り鍵)を拾ったり、自分しか知らない未開の近道を探し出したり(実はみんな知っている)。大人から見れば思わず笑ってしまうような出来事かもしれませんが、子どもにとってはその一つひとつが世界を広げる体験であり、確かな発達の土台になります。登下校すらも、**紛れもなく成長の舞台**なのです。

また、「**友達を遊びに誘う**」「**近くの公園へ子どもだけで出かける**」「**時計を見て帰る時間を気にする**」「**怖い犬がいるから回り道を考える**」等、こうした**発達に必要な経験が、少しずつ失われていきます。**

しかし、それらはどれも**自立心や判断力、社会性を育てる大切な環境**であり、**取り除いてよいわけがありません。**それでも、「**やっぱり心配**」なのも事実です。だからこそこれから必要なのは、**地域の大人が自然に目を配り、子育て世帯が「ここなら大丈夫」と思える空気をつくること**です。それを形にしていくことが、**児童館の役割**でもあります。**子どもたちの今しかできない経験を奪わないために、安心と経験を、どちらも守るために。**どうか、これからも地域の大人の皆さんの力をお貸しください。子どもが、「**家庭だけ**」ではなく、「**地域でも**」育つために。